

うらさと

コミュニティスクール
浦里小学校だより

R1.12.13

NO. 6

文責 片桐芳之

「URASATO ハピハピフェスティバル」

11月16日の前日準備、そして17日フェスティバル当日の2日間、保護者の皆さん、地域の方々、そして浦里小学校の子どもたちが1つの大きな行事を通じてすてきな関わり合いの時間を持てました。本当にありがとうございました。

（児童の感想から）

- ・落花生をいろんな人が買ってくれてうれしかったです。ししょくで食べた人が「おいしい」と言ってくれてうれしかったです。さいしょはきんちょうしてたけど、じょうずに話せてよかったです。
- ・わたあめを作って、へんなふうになっちゃったけど、おいしかったです。とっかんが大きな音を立てたときに、びっくりしました。レジがしまっちゃったときに、あまったしょうひんがもらえてうれしかったです。
- ・やきそばのやさいがいっぱいはいっていて、おいしかった。
- ・力を合わせて完売できてよかったなあ、と思いました。今までの中でも思い出にのこる1日でした。
- ・一番おいしかったのはやきそばです。お父さんはやきそばのところでやきそばを売っていました。
- ・さつまいもとりんごのふじと、ぐんま名月を売りました。ふじと名月はあつというまに売れちゃったけど、さつまいもはすぐには売れなかったのので、両手にもって歩きながら呼びかけたりもしました。
- ・私たちは前半は売りました。後半にたくさんのお買い物をしました。とっかんや、飲み物、やきそばも買いました。洋服も買いました。かわいい服がたくさんありました。

（地域の方の声から）

「久しぶりに学校に来られた。近所の人と久しぶりにおしゃべりができて嬉しかった」

「夏祭りやおはこ祭りは夜で、足下が見えないからお祭りに行けないが、バザーは昼間だから、家から出られた。来てよかった。楽しかった」



きれいに並べられた品物



中庭では綿あめや豚汁、飲食の準備



児童も米・野菜・果物等を運び込み



当日は多くの方が来てくれました

「のはらっこ」お話し会と劇



11月16日（土）のなかよし参観日では日頃から朝の読み聞かせの活動を行っていた「のはらっこ」の皆さんによる、お話しと劇が上演されました。会場のだれもが劇に吸い込まれ、食い入るように見入っていました。本当にすばらしい発表をありがとうございました。

『今年も「なかよしチャレンジ」やりたい！ やろう！』

今年は11月にPTA バザーがあるため、なかよし月間の取り組みもバザーに向けた準備が中心になっていたのですが、バザーが終ったあと、児童会の方から「今年もなかよしチャレンジをやりたい！」という声が上がりました。時間的に忙しい中、6年生と5年生が協力して、体育館にたくさんのアトラクションを準備しました。その思いをとともうれしく感じました。「やってもらう」のではなく、自分たちから「やりたい！」「やろう！」とつなげることができたのは、児童会が One Team となって考え、行動してくれた大きな成果です。

当日（11月28日）は5つの縦割り班ごとに、「プラス言葉」を掛け合いながら、決して簡単ではない各アトラクションのミッションをクリアしようと力を合わせていきました。そして、成功した時の喜びや互いのがんばりをチームごとに決めたポーズで表現していました。



やったー！チャレンジクリア！



協力して足場を作ろう



手をつないで落ちないように

わたしと小島とすすと 金子みすず
わたしが両手をのびても
お宝はあつともくへないが、
とべる小島はわたしのよう、
地面（じへだ）をはやくはまれない。
わたしがからだをゆすっても、
されいな宝はでないけど、
あの宝はすすはわたしのよう、
たくさんうたは知らないよ。
すすと、小島と、それからわたし
みんなちがって、みんないい。

校長講話「みんなちがってみんないい」